

# OPEN-TALK

半径5メートルへの想像力のために #002



## 「失われた30年」の只中を 生きる親と子のサバイバル

ゲスト：美濃屋 裕子さん

子ども若者支援専門ソーシャルワーカー

日本経済の長年にわたる停滞は、ついに「失われた30年」とさえ言われるようになりました。

もはや「失われる」ことがデフォルト化した世界を所与の前提として育ってきた就職氷河期世代が、親となり、働き、子育てすることはサバイバルです。そして、サバイバルする親とともに暮らす子どももまた、学校でサバイバルを余儀なくされています。

自らも就職氷河期世代であり、子ども・若者支援者であり、小学生・中学生の母でもある美濃屋裕子さんからみた、この社会の「生きづらさ」とは…？

1月30日(火)  
20:00~22:00  
オンライン(Zoom)

ライブ視聴・参加：1,000円  
オンデマンド配信視聴：700円

### ゲストプロフィール 美濃屋 裕子(みのや・ゆうこ)さん

1982年生まれ。キレる17歳&就職氷河期世代。民間企業勤務を経て、子ども若者支援専門のソーシャルワーカーに。2児の母でもある。支援する子ども達の保護者と「同世代」になったことで、困惑したり、新たな気づきを得たりしつつ、支援を続けている。また、地域の公立学校をすべての子どもの人権が守られ、安心して過ごせる場に変えていく重要性について発信を続けており、インクルーシブ教育を題材にした絵本『ひまわり』の出版クラウドファンディングも手掛けた。

※参考 絵本『ひまわり』出版プロジェクト (Readyfor) <https://readyfor.jp/projects/84169>



主催 ころろ・からだ・くらし相談室ハルジオン

### お申し込み方法

右のQRコードより、Peatixイベントページにお進みいただき、チケットをご購入ください。

※大学生/非正規雇用/無職の方向けの割引チケットございます。



# オープントーク 企画にあたって

他者への想像力——その喜びも、痛みも、悲しみも——が及ぶ範囲は、せいぜい自分の半径5メートルの範囲だと、どこかで耳にしたことがあります。

また、こんな話も聞いたことがあります。一人ひとり、それぞれの半径5メートルを持ち寄れば、それぞれの想像力が広がるのではないかと。

わたしは、これまで、半径5メートルの範囲で、どんな人生を歩んできた人たちと、どんなふうに出会い、わたしの人生をつくりあげてきたのでしょうか。

そして、いまだ出会えていないのでしょうか。

ほんとうは、すでに、つねに、共に生きている。でも、わたしのすぐそばには、いないことにしている人たちの人生。その存在に、気づけていないだけなのかもしれません。

半径5メートルへの想像力のために。人生をめぐる語りに耳を傾けることをとおして、新たな気づきを、それぞれにわかちあうきっかけとなることを願って。

## 企画者・MC(司会) 渡邊 充佳(わたなべ・みつよし)

1983年、大阪府生まれ。大阪市立大学及び同大学院で社会福祉や特別支援教育、インクルーシブ教育について学ぶ。

2008年7月より約9年間、兵庫県川西市の人権救済機関「子どもの人権オンブズパーソン」相談員として、学校生活や家族関係に悩みを抱える子どもの声を聴き、問題解決を支援してきた。

その後、短大教員(保育者養成)、放課後等デイサービス職員(障がい児の発達支援、居場所づくり)を経て、子ども時代を過ごした大阪府岸和田市で、2023年11月に「こころ・からだ・くらし相談室ハルジオン」を設立。社会福祉士・公認心理師。



## オープントーク 今後の予定

#003 2024年2月23日(金) 14:00～16:00 オンライン

市民社会による〈排除〉、市民活動による〈暴力〉

～国の責務 生存権保障をみつめなおす～

ゲスト:宮澤 進さん(特定非営利活動法人ほっとポット代表理事)

詳しくはこちら→



#004 2024年3月19日(火) 20:00～22:00 オンライン

彼氏は重度障害者! ～ともに生きた私のぶっちゃけ話～

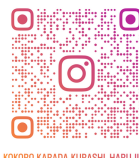
ゲスト:井川 朋子さん(こころと暮らしの相談室TOMO代表)

準備中

お問い合わせ こころ・からだ・くらし相談室ハルジオン

〒596-0041 大阪府岸和田市下野町1-9-16

E-mail: office@eas-harujion.com(代表)



KOKORO.KARADA.KURASHI.HARUJION